

「健常高齢者の会話支援による認知機能訓練に関する研究」

「在宅高齢者の会話支援による認知機能訓練に関する研究」

「ロボットとの会話による認知機能訓練手法に関する研究」

にご参加いただいた皆様へ

先日は、「健常高齢者の会話支援による認知機能訓練に関する研究」、「在宅高齢者の会話支援による認知機能訓練に関する研究」又は「ロボットとの会話による認知機能訓練手法に関する研究」にご参加いただき心より感謝申し上げます。皆様から取得いたしましたデータは、良い研究成果を生み出すために大変貴重なものです。

このたび、「会話による認知活動支援方法の開発」と題する研究において、上記研究で皆様から取得したデータを活用させていただきたく本文書を作成いたしました。本研究についてご説明し、同意撤回の機会をご提示するための情報公開（オプトアウト）をさせていただきます。本研究に関するお問合せ及び同意撤回のご希望がある方は本文書末尾の連絡先までご連絡いただけましたら幸いです。

課題名：会話による認知活動支援方法の開発

研究代表者：チームディレクター 大武 美保子

所属：理化学研究所 革新知能統合研究センター 認知行動支援技術チーム

機関長：理事長 五神 真

概要（目的、利用方法を含む）

本研究の目的は、参加者の会話を手助けし、その間の様子を記録し、解析することで、認知機能の維持向上と生活の質の向上へつなげる方法を調べることです。本研究では、参加者と他の方との会話を、「共想法」という方法で行って頂きます。または比較のため、普段通りの会話のみ、または「共想法」と普段通りの会話の両方を行って頂き、参加者の会話の特徴を調べます。こうしたことを行うことが認知機能と心理面にどのような影響を与えるかを調べるために、認知機能検査の他、いくつかの検査、測定、アンケートをお願いしています。

ご参加いただいた研究と、本研究は、会話と認知機能との関連の理解、そして、それに基づく認知機能向上のための会話による介入プログラムの開発という目的を共有するものです。それぞれの研究で取得されたデータを組み合わせることで、会話の特徴や認知機能等の時間的变化を解析したり、会話の特徴と認知機能の関係をより大きいデータで解析したりすることで、より効果的な認知機能向上プログラムの開発に繋げることを目指します。

本研究の主たる対象者は、健常者（年齢問わず）及び、日常会話が可能な認知機能低下がみられる又は疑われる 65 歳以上の方です。

1. 本文書の対象となる方

下記の研究課題のいずれかにご参加いただいた方を対象とします。

「健常高齢者の会話支援による認知機能訓練に関する研究」

「在宅高齢者の会話支援による認知機能訓練に関する研究」

「ロボットとの会話による認知機能訓練手法に関する研究」

2. 研究に用いる試料・情報の種類

・「健常高齢者の会話支援による認知機能訓練に関する研究」

・「ロボットとの会話による認知機能訓練手法に関する研究」

・「在宅高齢者の会話支援による認知機能訓練に関する研究」

で取得したデータのうち、本研究で用いるものは以下の通りです：

・会話データ（音声データ、動画像（表情）データ、発話データ、写真データ、ユーザビリティ）

・アンケート（質問紙データ、フェイススケール、写真当て、システム評価）データ

・活動量データ

・認知機能データ

・運動機能測定結果

・脳画像データ（MRI、fMRI、DTI）

・血液データ

・脳活動データ

・視線データ

3. 外部機関への試料・情報の提供

本研究の下記の共同研究機関への情報提供を行います。

・ 共同研究機関名：ドイツ フライブルク大学 医療センター 脳神経外科

・ 研究責任者名：Tonio Ball

・ 提供する情報：「2. 研究に用いる試料・情報の種類」で定義したデータ ※データは個人が特定できない状態に加工したうえで共有しますが、音声・動画データは、音韻や表情解析を行うため、加工せずに共有します。なお、提供する際は、共同研究機関の研究者のみがアクセスできるよう設定したストレージを用いて提供します。ドイツではGDPR（一般データ保護規則）により個人情報の保護について厳格な基準がもうけられています。

・ 利用又は提供を開始する予定日：2026年5月1日

4. 研究期間

研究予定期間は、研究計画許可日から2031年3月31日までを予定しております。進

捗状況により、研究継続について倫理審査委員会から承認を受け、理事長から実施の許可を受けたうえで研究期間を延長する可能性があります。

5. 研究組織

研究責任者：

国立研究開発法人理化学研究所 革新知能統合研究センター 認知行動支援技術チーム
チームディレクター 大武美保子

共同研究機関：

大阪大学大学院 医学系研究科精神健康医学及び大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター 教授 金山大祐

NPO 法人きらりびとみやしろ 代表理事 島村孝一

有限会社野花ヘルスプロモート 代表取締役 冨田昌秀

和光市 長寿あんしん課 課長

岸和田市 市長

フライブルク大学 医療センター 教授 Tonio Ball

6. 使用の拒否について

本研究におけるデータの利用に同意されない場合は、下記の間合せ先までご連絡ください。同意されない場合でも、あなたが不利益を被ることは一切ありません。その場合、測定された情報や研究の結果などは廃棄され、それ以降は研究目的に用いられることはありません。ただし、同意を取り消した時点ですでに解析を終えていたり、既に論文で公表されていたりした場合などに、データを廃棄することができない場合があります。

7. 間合せ先

理化学研究所 革新知能統合研究センター 認知行動支援技術チーム

チームディレクター 大武美保子

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング 15 階

電話：080-9213-9536